

3 総社市総合計画審議会委員名簿

区分	氏名	役職名
会長	清水 男	総社商工会議所会頭
副会長	垣野 智	総社市社会福祉協議会会長
委員	守安 信吾	総社市観光協会会長
委員	水野 三重子	総社市婦人協議会会長
委員	大月 亮	総社市消防団長
委員	平松 秀昭	総社市コミュニティ連絡協議会会長
委員	難波 巧	総社市PTA連合協議会会長
委員	稲井 寛	岡山県立大学情報工学部情報通信工学学科教授
委員	山田 孝延	岡山県立大学デザイン学部工芸工業デザイン学科教授
委員	太湯 好子	岡山県立大学保健福祉学部看護学科教授
委員	加藤 壽美子	順正短期大学講師
委員	若林 安郎	
委員	難波 正義	
委員	吉澤 光功	
委員	金丸 由記子	
委員	中島 久美子	
委員	角田 操	
委員	難波 道子	
委員	栢原 優子	
委員	吉田 庄吾	

ノーマライゼーション (P30, 62, 63, 64, 96)

高齢者も若者も、障がい者も健常者も、すべての人が人間として普通の生活を送るためには、ともに暮らし、ともに生きることが必要であり、また、そのような社会こそノーマル（普通）であるという考え方。

この理念は知的障がい者分野から障がい者分野全体に広がり、最近では社会福祉の基本理念の一つとなっている。

フィールドミュージアム (P31, 41, 100, 159)

一定地域あるいは地域全体を概念的に美術館、博物館と捉える考え方。自然や民族文化などを展示物に見たて、鑑賞者には「見る」だけでなく、触れる、話すなど体験型の鑑賞行為が期待される。

農業の6次産業化 (P34, 150)

農業は、産業分類では第1次産業に分類され、農畜産物の生産を行うものとされているが、第6次産業は、農畜産物の生産だけでなく、食品加工（第2次産業）、流通、販売（第3次産業）にも農業者が主体的かつ総合的に関わることによって、加工賃や流通マージンなどの今まで第2次・第3次産業の事業者が得ていた付加価値を、農業者自身が行うことによって農業を活性化させようというものである。

ちなみに、第6次産業という名称は、農業本来の第1次産業だけでなく、他の第2次・第3次産業を取り込むことから、第1次産業の1と第2次産業の2、第3次産業の3を足し算する（又は掛け算する）と「6」になることをもじった造語である。

バランスシート (P43, 197)

貸借対照表。一定の時点において保有するすべての資産や将来返済しなければならない負債等の残高の状況を総合的に表示した報告書で、単年度の繰上歳出決算報告では把握できない財政状況を明らかにすることを目的としている。

地域包括支援センター (P49, 59)

地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として設置された地域包括ケアの中核機関で、保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士などの専門職員が配置され、それぞれの専門知識や技能を互いに生かしながら、地域での各種サービスや住民活動を結びつけ、地域のネットワークの構築や要支援者等に対する保健・福祉サービスのコーディネートを行う。

レッドデータブック (P98)

絶滅のおそれのある野生動物植物をリストアップしてそれらの生息・自生状況をまとめたもの。1966年に国際自然保護連合（IUCN）が発行。日本版も環境省が発行している。

ISO14001 [International Organization for Standardization] (P122, 123)

国際標準化機構が制定・発効した環境管理システムと環境監査に関する国際規格。製品そのものではなく、製品提供の過程について統一基準を示すもので、これは特に環境マネジメントシステムに関する規格である。

環境アセスメント (P125)

開発行為を行う場合に、環境にどのような影響を与えるかを調査・予測・評価すること。

パークアンドライド、サイクルアンドライド (P128, 132)

駅やバス停まで車または自転車で行き、そこからバスや電車に乗る方式。

フリーゲージトレイン (P132)

新幹線と在来線を相互に走ることのできる鉄道車両。

岡山情報ハイウェイ (P134)

県内全域を8の字型に結んだ高速大容量の光ファイバ網。（Ether網は1～10Gbps ATM網は622Mbps 総延長約450km）平成10年度から整備を開始し、平成12年度中に基幹回線はすべて完成し、平成15年度に高速大容量化・IPv6化を実現した。一般に無料開放されており、全国を縦横断する情報通信研究機構のギガビットネットワークとも接続されている。

ハザードマップ (P140)

自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したもの。予測される災害の発生地点、被害の拡大範囲及び被害程度、避難場所などの情報が既存の地図上に図示されている。

自動体外除細動器 (Automated External Defibrillator) (P141)

突然の心停止（心室細動若しくは無脈性心室頻拍）の際にコンピュータが自動的に電気ショックが必要か判断し、音声メッセージに従い電気ショックを与え、心臓の機

と、そのサーバが提供するサービスを利用する「クライアント」に分けて実現するタイプのシステム。通常、サーバとクライアントは「1対多」の通信が行われ、業務処理の一部をクライアントであるパソコンなどの端末で行うので処理が速い。

アウトソーシング (P197)

業務を外部委託すること。業務の一部、特に情報システムの開発・運用・保守などを外部の企業に委託すること。

4 用語の解説

NPO (nonprofit organization) (P2ほか)

行政や企業から独立して、社会貢献や慈善活動に従事する非営利組織。1998年にNPO法が成立し、NPOに法人格が与えられ、活動の促進が積極化している。

アイデンティティ (P9, 23)

帰属・所属意識。この場合、市民が総社市と一体と感じる意識のことで、郷土愛と解することができる。

総合型地域スポーツクラブ (P11, 31, 84, 85, 86, 87)

受益者負担の原則で市民が会費を出し合っってスポーツをする環境を整備したクラブ。会員自身が運営に参画し、子どもから高齢者まで楽しんで行うレベルから競技スポーツのレベルまで、種目などを多種多様に選べるのが特徴。

モータリゼーション (P18, 154)

自動車の大衆化。自動車が一般の生活に欠かせなくなった社会の状況を指す。

CATV (Cable Television) (P19, 33, 76, 134, 135, 140, 169, 188, 189)

ケーブルテレビのこと。地域のニュースや議会中継などの身近な情報や地上波デジタル放送にも対応したTV放送が視聴できる。当初テレビ離れ対策施設として誕生したが、現在インターネットや電話などの双方向通信サービスも急速に進められている。

Uターン (P27, 34, 38, 151)

Uターンとは、Uターン（出身地から地域外へ進学や就職のため都会へ出た後、出身地に戻ること。）、Jターン（出身地から地域外へ進学や就職のため都会へ出た後、出身地の近隣地域に戻ること。）、Iターン（出身地にかかわらず、住みたい地域を選択し移り住むこと。）の頭文字をとってできた言葉。

ユニバーサルデザイン (P30, 62, 63, 69, 76, 96)

さまざまな個性や能力、障がいの有無にかかわらず、だれもが無理なく利用できる商品やサービス、また、家・街などの設計。

セルフヘルプ・グループ (P54)

自分が抱えている問題を自分だけで努力するのではなく、同じ問題を持つ人と仲間をつくり、そこで相互に努力し、自分たちで解決できないときに社会に「ヘルプ」を求めるグループ。社会に訴え助けてもらうことにより、ほかの仲間でない人にも働きかけることができるし、共同して問題の解決にあたることができる。

ファミリーサポートセンター (P68)

地域において、育児や介護の援助を受けたい人と提供したい人が会員となり、育児や介護について助け合う会員制度。

インクルージョン (P69)

インクルージョンとは包み込むという意味をもち、障がいの有無にかかわらず、また、能力にとらわれることなく、あらゆる子どもが地域社会における学校教育等の場において包み込まれ、それぞれに必要な支援や教育を受けること。

地域子育て支援センター (P68)

市が指定した保育所を地域の子育て支援の中核施設として位置付け、在宅で子育て中の親とその子どもに対する支援を行うもので、育児相談に応じたり、子育て情報の提供、子育てサークルの育成・支援を行うこと。

リカレント教育 (P74, 77)

OECD（経済協力開発機構）が提唱した生涯教育構想の一つ。一度社会へ出た者が、大学や大学院などに再入学し、知識・技能を習得すること。

学校評議員制 (P81)

学校運営に関する校長の権限と責任に基づき、「地域住民の学校運営への参画」「地域に開かれた学校づくり」を目指し、地域社会から有識者、青少年団体の関係者等が評議員として学校運営に関して意見を述べる形で参加・協力する制度。

メセナ活動 (P90, 94)

芸術・文化支援のこと。社会貢献の一環として行う芸術・文化支援。最近では、教育や環境、福祉なども含めた「企業の行う社会貢献活動」と、広義の解釈でも使用されるようになった。（古代ローマの政治家で文芸の擁護者 G. Maecenasの名に由来）

能を正常にすることを目的とした医療機器。

グリーンツーリズム (P151, 159)

都市住民などが、みどり豊かな農山漁村地域において、民家、キャンプ場、民宿、旅館、コテージなどに滞在し、山、森、川、海などの自然の中で遊んだり、農林漁業、食品加工、伝統工芸、伝統芸能など地域の産業や文化、人々との交流を楽しむ滞在型余暇活動のこと。

エンパワーメント (P179)

本来持っている能力を引き出し能力開化させること。特に、女性のエンパワーメントとして用いる場合には、女性が自らの意識と能力を高め、社会のあらゆる分野で力をつけ、力を発揮し、行動していくことをさす。

雪舟サミット (P182, 183)

室町時代の画聖・雪舟にゆかりのある全国6市町が一堂に集まり、雪舟を通して文化、観光などの交流によって相互友好を深め、地方文化の向上に役立てる目的で結成されたもの。福岡県川崎町・大分県豊後大野市・山口県山口市・鳥根県益田市・岡山県井原市・本市がその構成市町である。

ワークショップ (P188)

実際に体験しながら学習すること。学ぶ者が受身でなく、自ら考え、体験しながら学習すること。

タウンミーティング (P188)

大田が全国各地に出向き、一般市民と対話する集いのこと。大田が全国各地で、政策課題などについて直接市民に語りかけるとともに、市民からの意見に耳を傾ける機会となっている。

PFI (Private Finance Initiative) (P190, 198)

公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法。この導入により、国や地方公共団体のコストの削減、より質の高い公共サービスの提供が期待される。

CS (クライアントサーバー)システム (P194)

システムを単一のソフトウェアで実現するのではなく、処理の中核をなす「サーバ」